

『関東大震災からの復旧・復興と治山治水について～「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人たちの取組に学ぶ～』講演会及び現地視察会の開催



林野庁 関東森林管理局 東京神奈川森林管理署

1 開催の背景と概要等

令和8年（2026年）は、昭和元年（1926年）から起算して100年を迎えます。

「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人たちが取り組まれた関東大震災という未曾有の自然災害からの復興に学び、その記憶を共有することは、平成以降に生まれた世代にとっても新たな発見や学びのきっかけとなり、森林の整備や治山治水等の取組の効果が地域にもたらす恩恵を実感していただける機会となります。

令和8年2月26日、神奈川県にある山北町立生涯学習センター視聴覚ホールと世附国有林帝室林野局大又澤堰堤を会場として、世附地区森林整備推進協定を締結している行政機関である山北町、神奈川県県西地域県政総合センター（以下「県西地C」という。）及び林野庁関東森林管理局東京神奈川森林管理署（以下「当署」という。）の共催により、講演会及び現地視察会を開催しました。当日は、西丹沢山地）における関東大震災前後の森林の状況や震災後の復旧に向けた砂防治山技術等に関して二方の専門家をお招きするとともに、山北町町議会、文化財保護委員、町職員、神奈川県職員及び国有林職員などを含めて90名規模の開催になりました。

2 講演会

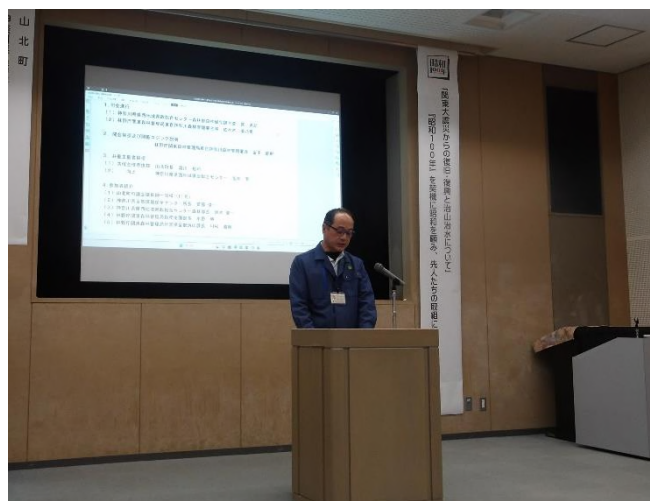
講演会は、県西地C森林部森林保全課の巽友紀主査と当署の佐々木美乃里主事の若手職員

が司会進行を担当し、息がぴったりでさわやかな雰囲気でのびのびと始まりました（【写真1】を参照。）。



【写真1：息がぴったりな司会進行】

冒頭、当署の金子直樹署長から開催趣旨について説明を行い（【写真2】を参照。）、その後、主催者を代表して、山北町の湯川裕司町長と県西地Cの宮本普所長から、この取組が「昭和100年」を顧み、新たな発見や学びのきっかけとなることを祈念する旨のご挨拶をいただきました。



【写真2：金子直樹署長から開催趣旨説明】

講演では、最初に「関東大震災前後の森林の状況について～西丹沢における世伝御料地の森林史～」と題して、神奈川県森林協会専務理事の内山豊氏に講演をいただきました（【写真3】を参照）。内山氏は、昭和62年4月神奈川県庁に入庁され、足柄上郡の林道整備、県有林、治山事業などに長年携わってこられました。平成7年1月17日発生の兵庫県南部地震の発生を受けて、林野庁から関東大震災における神奈川県の治山事業の取りまとめの要請をきっかけに森林史に携わっています。これまでに「丹澤世伝御料地の休泊所とその後」、「早戸川森林史」、「神ノ川森林史」を執筆され、令和5年2月には「関東大震災前後の箱根山周辺の森林史」の講演会を実施されています。現在は、神奈川県森林協会専務理事を勤める傍ら、「中津川森林史」を執筆中とのこと。



【写真3：内山氏による講演】

続いて、「震災後の復旧に向けた治山施設の設置・技術等について」と題して、株式会社共生顧問の西本晴男氏に講演をいただきました（【写真4】を参照）。西本氏は、昭和54年に建設省（現在の国土交通省）に入省され、本省や地方建設局等において、砂防、河川関係の業務に長年携わってこられました。その後、国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター長や筑波大学大学院生命環境科学研究科教授などを歴任されました。砂防学会誌に「大正関東地震後の復旧工事で施工され

た砂防堰堤の特徴～西丹沢周辺における事例を対象として～」を内山氏らと共同執筆されており、また、「関東大震災のあとをめぐる～足柄・小田原・秦野～」（足柄の歴史再発見クラブ）や「西丹沢の震災復旧砂防工事～諸戸北郎博士の足跡から読み解く～」（山北町地方紙研究会）の執筆などにも携わってこられました。現在は株式会社共生の顧問としてご活躍されています。



【写真4：西本氏による講演】

講演会の講師となっていただいたお二方からは、「これまでの現地調査や文献調査で収集した資料を整理・発表することができ、大変良い機会となった」と謝意が示されるとともに、参加された方々や講演会閉会の挨拶に立った山北町の和田薫農林課長からも、「これまで知り得なかった貴重な話や資料を提供いただき有意義な講演であった」など高い評価をいただきました。（講演会の参加者全員で記念撮影【写真5】を参照。）。





【写真5：講演会の参加者全員で記念撮影】



【写真6：出発前に参加者全員で記念撮影】

3 現地視察会

午後からは、世附国有林に会場を移し、帝室林野局大又澤堰堤（昭和8年竣工）などの現地視察会を開催しました。

現地では、当署の安井一太主任森林整備官が司会進行を担当し、江澤賢伸総括治山技術官から施設概要や諸注意事項の説明を行い（現地に出発前に参加者全員で記念撮影【写真6】を参照。）、その後、帝室林野局大又澤堰堤に移動し現地視察を実施しました。現地では、参加者からの質問に対して西本氏から技術的な解説もされるなど有意義な時間となりました。約100年前に現地巨石を切り出し、加工して積み上げられた治山堰堤は、現在もその機能を変わずに発揮しており、参加者一同、当時の技術者の偉業と恩恵を改めて実感することができました（大又澤堰堤を背景に記念撮影【写真7】を参照。）。

結びに県西地Cの鈴木健一森林部長から本日の講演会等を振り返り、森林の整備や治山治水等の取組の効果が地域にもたらす恩恵を共有し、今後の各行政の政策や業務の推進に努めてもらいたいと激励の言葉で散会となりました。



【写真7：大又澤堰堤を背景に記念撮影】



＜お問合せ先＞
林野庁 関東森林管理局
東京神奈川森林管理署

TEL：0463-32-2867

e-mail：

ks_tokyo-anagawa_postmaster@maff.go.jp